

伊方発電所周辺地域のお客さまへの訪問対話活動の実施結果について

今年度の訪問対話活動は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、従来の方法に代えて、伊方発電所の現状などについてご説明するリーフレットを伊方発電所から20km圏内の各世帯にお配りし、専用はがきあるいは専用アドレスへの電子メールにより皆さまからお寄せいただいたご意見・ご質問に個別に回答を行うなど、丁寧に対応させていただきました。

その他、伊方発電所の状況を詳しくご説明する動画を制作し、活動の期間中を中心に地域のケーブルテレビ局で放送したほか、当社ホームページでも公開しました。

概要は以下のとおりです。

1. 訪問対話活動の実施状況

- ・期 間 2020年10月1日（木）～15日（木）
- ・配布戸数 26,807戸

（内 訳）

地 域		期 間	戸 数
伊方町	全域	10/1～10/14	4,226 戸
八幡浜市	全域	10/5～10/15	15,349 戸
大洲市	旧大洲市・旧長浜町の一部		2,549 戸
西予市	旧三瓶町全域、旧宇和町・旧明浜町の一部		4,683 戸
戸 数 の 合 計			26,807 戸

2. 訪問対話活動の実施結果

地域の皆さまからお寄せいただいたご意見・ご質問の件数 88 件

<ご意見の一例>

（連続トラブル関連）

- ・改善策5項目を徹底して実行してほしい。
- ・慣れによる心の緩みが度重なるトラブルにつながっているのではないかと、緊張感を持って取り組んでほしい。

（新型コロナウイルス関連）

- ・新たに入構する作業員を対象としたPCR検査は大変良い。この対策を続けてほしい。

（使用済燃料乾式貯蔵施設関連）

- ・使用済燃料を一時的に貯蔵する施設で、発電所に置き続けることはないとのことので安心した。
- ・詳細な説明資料は大変参考になった。今後も住民に対する情報公開に努めてほしい。
- ・施設の設置には絶対に反対。再処理工場も完成していないのに「搬出する」と言い切るべきではない。

（その他）

- ・原子力は大きなリスクを伴う。一刻も早く自然エネルギーに変えるべきで、利用者としては多少の負担が増えても受け入れる。
- ・電気がないと生活ができない。人を大切に、今後とも安全第一に事故のないよう頑張ってもらいたい。

3. 動画の放映状況等

- 2020年1月に伊方発電所で連続して発生したトラブルの再発防止と、発電所における新型コロナウイルスへの感染防止に向けた取り組み状況をご説明する動画
「皆さまにご信頼いただける伊方発電所を目指して」
を地域のケーブルテレビ3局において放映（8月下旬～9月上旬、10月）、および当社ホームページで公開（9月～10月）

- 使用済燃料乾式貯蔵施設の概要とその必要性・安全性についてご説明する動画
「乾式貯蔵施設ってどんなもの？ 伊方発電所での計画について」
を地域のケーブルテレビ3局において放映（10月～12月）、および当社ホームページで公開（10月～）

以 上